



特集1

「木づかい」はじめませんか。

もっと知ろう。もっと使おう。

「木づかい」で森林も人も元気な日本に。
毎年10月は「木づかい推進月間」です。



日本の森林を育む 「木づかい」

あれっ「気づかい」の間違いではないの？と思っただ方に、是非覚えていただきたい言葉、それが「木づかい」です。

日本の国土面積の約3分の2は森林で、そのうち約4割は人が植えて育てた「人工林」です。人工林は、終戦直後に行われた荒廃森林の復旧や高度経済成長期の木材需要を賄うための伐採・再造林によって造成されたものが多く、現在本格的な利用期を迎えています。

木材は、森林から生み出される再生産可能な資源であり、「植える→育てる→収穫する→使う」というサイクルを循環させることにより、森林の手入れが適切に行われ、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止等の森林の有する多面的機能が十分に発揮されることにつながります。

しかし、日本では、年々森林資源の量は増加しているにもかかわらず、十分に使われていないのが現状です。これは、生活様式の変化に加えて、鉄やコンクリート、そしてプラスチック製品などが木にとってかわることが多くなったことが要因です。

このような中、「木づかい運動」は、木を「使う」こと、つまり生活の中に「木」を取り入れることを進める運動で、誰でも手軽に始められるエコ活動です。

「木づかい」は森林への「気づかい」でもあります。

近年は、CLTや耐火部材などの開発により、これまで木材があまり使えなかった分野でも木材が使えるようになり、新国立競技場を始め、木材を効果的に活用した公共施設や、オフィスビル、商業施設などが全国各地で計画、建設されています。木材をいかに「使う」かに注目が集まる時代になってきました。

林野庁では、平成17（2005）年度から、木材利用の意義を広め、利用拡大につなげていくための国民運動として「木づかい運動」を展開しています。同運動では、「ウッドデザイン賞」の実施、シンポジウムの開催や展示会への出展、ポスターの配布等による広報活動等を行っています。

また、木材や木製品とのふれあいを通じて、木材への親しみや木の文化への理解を深めてもらう教育活動として、「木育」の普及にも取り組んでいます。

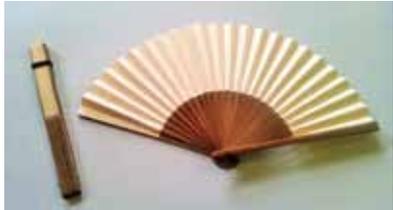
毎年10月は「木づかい推進月間」です。国や各都道府県、地方公共団体や民間団体等により、様々なイベントや普及活動が行われます。皆さんもこの機会に、身近なところから「木づかい」を始めてみませんか。

元気な森(人工林)と農山村を育てるため、木を使う必要



「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で表彰するもので、平成27(2015)年度から始まりました。「木のある豊かな暮らし」が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、ひいては国産材の需要が拡大し、適正な森林整備が進むことを目指しています。

暮らしの中にちょっとした「木づかい」を加えてみませんか。
ウッドデザイン賞2015 受賞作品の中から身近な日用品をご紹介します。

<p>三県復興 希望のかけ箸 (株)磐城高箸・Eat East! 東日本大震災で被害の大きかった岩手県・宮城県・福島県のスギ間伐材を使用。復興の願いが込められています。 http://iwaki-takahashi.biz/</p> 	<p>ひきよせ (株)ラ・ルース 寄せ木にした1枚の板を、立体の器に仕上げる「木地挽き」という技術により作成。堅牢な接着で割れやゆがみを抑えています。 http://hikiyose.jp/brand.html</p> 	<p>物差し No.50 小粥千寿 天竜川流域の樹種を集め作成された定規。天竜川(213km)の100万分の1(21.3cm)の長さです。 http://chizuogai.com/?portfolio=scale-no-50</p> 
<p>ヒトテマキット (株)西栗倉・森林の学校 型から外して、自分の好きな形に削って磨いてつくる木製のカトラリー。スプーン、フォークなど全15種。 http://zaimoku.me/hitotema/</p> 	<p>東北杉の和柄コースター (一社)木づかいビジネス協議会 レーザーで全面に刻印した和柄のパターンとスギの木目の繊細なデザイン。プチギフトや海外へのお土産にもオススメ。 http://www.kizukai-shop.com</p> 	<p>天然木扇子 (株)ビッグウィル 扇子の扇面に、つき板を加工した紙を使用。天然木の美しい木目が楽しめたり、仰ぐとほのかに木の香りが感じられます。 http://bigwill.shop-pro.jp/?pid=77920630</p> 
<p>天然木の熨斗袋 ハートツリー(株) 紙のように折ったり文字を書いたりできる「木の紙」を使った熨斗袋。大切な人へ気持ちと共にほのかな木の香りとぬくもりを。 http://heart-tree.shop-pro.jp/?pid=89835034</p> 	<p>BON 津山木工芸品事業協同組合 杉の集成材を使い、3種類の塗装を施したコンパクトサイズな軽くて丈夫な角盆。スタッキングでき持ちやすい設計。 http://moku2.biz/</p> 	<p>Shake Handle (株)桜、(株)HARIYA 間伐材を有効利用した買い物袋用の木の持ち手。握りやすいアーチ形状で買い物袋の重さと痛みが軽減されます。 http://www.shakehandle.jp/</p> 

ウッドデザイン賞2016のスケジュール

ウッドデザイン賞入賞結果通知・発表：10月24日

最優秀賞(農林水産大臣賞)等発表・表彰：12月8日
 受賞作品の展示(12月8~10日)
 ※東京ビッグサイト「エコプロ2016」の会場でいきます。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2016

ウッドデザイン賞に関する最新情報等、
随時更新しています。

<https://www.wooddesign.jp/>





イトーキ東京イノベーションセンター「SYNQA (シンカ)」

イトーキ

「やま」と「まち」をつなぐ 地域材活用ソリューション 「Econifa (エコニファ)」

イトーキは2010年から地域材を家具やインテリアに積極的に活用し、地域的循環を再現するしくみ「Econifa (エコニファ)」を展開しています。

「Econifa」とは、環境のECOと針葉樹のConiferを組合せたイトーキの造語で、その活動は2012年グッドデザイン賞、2015年ウッドデザイン賞を受賞しました。

地域材活用ソリューション「Econifa」のコンセプトは三つです。

- ① 事業を地域に限定せず全国に展開し継続する…サステイナブル。
- ② 都市で使ってもらえるモノをカタチにする…デザイン。
- ③ 産地から使用者までの知識を集結させるHUBとなる…コラボレーション。

特に、今回は二番目のデザインについて紹介します。イトーキは公共施設やオフィス空間に快適を提供しています。地域材の家具やインテリアにも、当然、快適性が求められます。地域材の使用量を優先するあまり空間全体に木材を使ってしまう、インテリアと調

和しない木材の活用例を見かけます。しかし、大切なのはその空間を使う人たちの快適性を木材の活用によっていかに上げることができるかです。

イトーキは2012年に東京・京橋に新しいビジネスの創造の場としてイトーキ東京イノベーションセンター「SYNQA (シンカ)」を開設しました。「SYNQA」のインテリアや家具には、自社の地域材を活用した製品をふんだんに取り入れました。「まち」のオフィスを木材によっていかに快適にできるか、使い勝手や耐久性はどうかなど、日々実証し次の製品開発に活かしています。

イトーキは自社に地域材の加工工場を所有しておらず、国内の主要地域で委託生産をしています。極力「やま」の近くで加工し輸送によるCO₂の排出量を抑えるとともに、地域の製材所や加工工場と協働することにより地域循環の構築を行っています。

今後も全国にサプライチェーンを拡大し、地域循環の再現を引き続き行っていきます。



パリで開催された『TSUMIKI EXHIBITION』



針葉樹をイメージした三角形の「つみき」。向きや角度、使うピースの数によって様々な作品が作り出せる。

(一社)
more trees

都市と森をつなぐ 「つみき」のデザイン

一般社団法人 more trees (モア・トゥー リーズ) は、「もっと木を」というコンセプトのもと、音楽家の坂本龍一を代表として設立された森林保全団体です。「都市と森をつなぐ」をキーワードに、国内では11か所の地域と協定を結び「more treesの森」を展開するとともに、森林整備など各地の森づくりを推進しています。また様々な「森のめぐみ」を利用した商品やツアーなどを企画・展開することで、都市と森の交流にも努めています。

国産材を使ったプロダクトとして昨年販売を開始した「つみき」は、空間にまで幅広くその可能性を広げたいという思いから、木造建築を数多く手掛ける建築家の隈研吾氏にデザインを依頼しました。

一見ごくシンプルながら山型のピースですが、積み重ねることで、小さな粒から大きな世界を生み出すことができます。おもちゃとしてはもちろん、インテリアとしても楽しむことができ、大人も子どもも魅了する新しい形の「つみき」です。

また、「つみき」の素材には、FSC森林認証を取得した宮崎県諸塚村の杉を使用しており、地元の職人の手でひとつひとつ丁寧に作られています。

日本の森やものづくりの魅力を世界へ発信しようと、今年9月にパリで行われた日仏共同プロジェクト「PARISHIKI」

において、17日間にわたって「つみき」の

展示会「TSUMIKI EXHIBITION」を開催しました。世界各地から訪れた来場者は「つみき」が生み出す様々なインスタレーション[※]に触れ、その美しさやプロダクトとしての質の高さ、また日本の木の文化にも興味を示していました。森の恵み、職人の技術、デザインの力、それぞれが融合することで生まれた「つみき」は、私たちのテーマである「都市と森をつなぐ」ための一翼を担いながら、その舞台を世界に広げています。こうした活動を通じて対価を地域の森へ還元できるよう、これからも取組を続けていきます。

※インスタレーション：据付け、設置の意味から転じて、展示空間を含めて作品とみなす手法のこと。



宮崎県諸塚村の「more treesの森」



木桶から始まる 木の文化の再生

長野県では「木の文化の再生」を
目指して、桶・樽などの暮らしに
密着した木製品の復活に取り組ん
でおり、味噌や醤油の食品業界等、
様々な業界に働きかけを行ってき
ました。

そんな中、昔銭湯でよく見かけた
黄色い「ケロリン桶」を思い出しま
した。

周りの人に「銭湯の黄色いプラス
チック桶知っている？」と聞くと、
ほとんどの人が知っています。そこ
でプラスチック桶の代表選手のよ
うな「ケロリン桶」が木桶になれば、
「木の文化の再生」に向けた大きな
インパクトになるのではないかと
考えました。

早速、ケロリン桶を販売している
内外薬品(株)(本社：富山市)に長野県
の取組を説明に行き、長野県産の木
桶を提案しました。

何度かの打ち合わせの後、「ケロ
リン木桶」の商品化が決定、平成27
年3月14日の北陸新幹線の開業に
合わせ販売を開始しました。

木桶は長野県内の南木曾町の志
水木材産業(株)が製作、原材料には長
野県産の「サワラ」を使用、販売価格
は4000円(税抜き)です。木桶の
販売1個につき100円が木曾広
域連合に寄付され、木曾地域の森林
整備に役立てられています。

また、2015年に創設された
「ウッドデザイン賞」では、奨励賞を
受賞し、高い評価をいただきました。

話は変わりますが、実は、ケロリ
ンの黄色いプラスチック桶は東京
オリンピックの前年(昭和38年)に
東京温泉(東京駅八重洲口)に置か
れたのが最初で、それ以降全国の銭
湯や温泉などの浴室へ波及してい
きました。

2020年東京オリンピックで
は、「ケロリン木桶」が新たにブレイ
クし、日本固有の木の文化である
木桶が全国に広まっていくことを
願っています。木の文化の再生のた
めに、皆様のお力添えをよろしくお
願いします。



ケロリン木桶

ケロリン桶



展示の様子



ウッドデザイン賞授賞式



10月中旬より、全国各地で開催される様々なイベントを紹介します。それぞれのイベントでは木工体験や地元で作られた木製品などの販売が行われます。お近くの会場に足を運んでみては如何でしょうか。尚、紙面の都合上、ご紹介しきれないイベントが多数あります。是非、林野庁HPの方もチェックしてみてください。

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/j/kidukai/gekkan.html>



1 木育ひろば in チ・カ・ホ (北海道)
札幌駅前通地下歩行空間“チ・カ・ホ”で木工クラフトの体験や、木製遊具で遊ぶことができます。



2 木と暮しのふれあい展 (東京都)
木製品の展示販売、木工体験を楽しむ木工教室などを行います。また、最新林業機械の展示もあります。



3 みえ子ども森の学びサミット (三重県)
森林や木について楽しく学べるイベントです。



4 とくしま木づかいフェア (徳島県)
県産材をつかった木工教室、こども上棟式、どんぐり教室など木に触れ親しむ活動を行います。

「木づかい推進月間」近辺のイベント情報(抜粋)

	期 間	都道府県	行事名	開催地及び会場名	主催等	連絡先(電話番号)
1	10月25日 ～26日	北海道	木育ひろば in チ・カ・ホ	札幌市 札幌駅前通地下歩行空間 札幌駅前イベントスペース	北海道、林野庁北海道森林管理局 北海道木材産業協同組合連合会	011-204-5515
	10月30日	岩手県	住田町産業まつり	住田町農林会館前駐車場	住田町林業振興協議会	0192-46-2111
	10月23日	栃木県	とちぎ協働まつり	栃木市総合運動公園	栃木木材協同組合	0282-22-3745
2	10月22日 ～23日	東京都	第36回 木と暮しのふれあい展 (※最新の林業機械の展示もあります)	都立木場公園イベント広場	東京都、(一社)東京都木材団体連合会	03-3520-4855
	10月30日	新潟県	わんぱく建築工作まつり	アオーレ長岡	長岡建築協同組合	0258-32-1227
3	10月22日	三重県	みえ子ども森の学びサミット	MAP みえこどもの城	三重県ほか	059-224-2513
	10月30日 ～11月6日 (作品展示会)他	奈良県	奈良の木づかいフェスタ	イオンモール橿原	「奈良の木づかい運動」実行委員会 (事務局：奈良県農林部奈良の木ブランド課内)	0742-27-7470 (奈良県農林部奈良の木ブランド課)
	10月22日	岡山県	第17回 森林を考える岡山県民の集い	グリーンズビルズ津山	森林を考える岡山県民のつどい実行委員会	0868-27-7150
4	10月22日 ～23日	徳島県	とくしま木づかいフェア	あすたむらんど徳島	とくしま木づかい県民会議	088-662-2521 (事務局：徳島県木材協同組合連合会)
	10月30日	宮崎県	森とのふれあい祭り	宮崎県美郷町 森の科学館 (林業技術センター内)	(公社) 宮崎県森林林業協会	0985-27-7682

